

布 尻 遺 跡

縄文時代の越飛を結ぶムラ



2013年3月

富山県埋蔵文化財センター

 富山県

目 次

縄文時代の越飛を結ぶムラ 布尻遺跡	2
主な出土遺物	2
中期前葉から中葉の土器	2
中期後葉の土器	2
中期末から後期の土器	3
後期前葉の土器	3
後期中葉の土器	4
後期後半から晩期の土器	4
いろいろな形や特徴をもつ土器	4
土器写真	5

土器写真の縮尺は統一してありません。



縄文 中期～後期



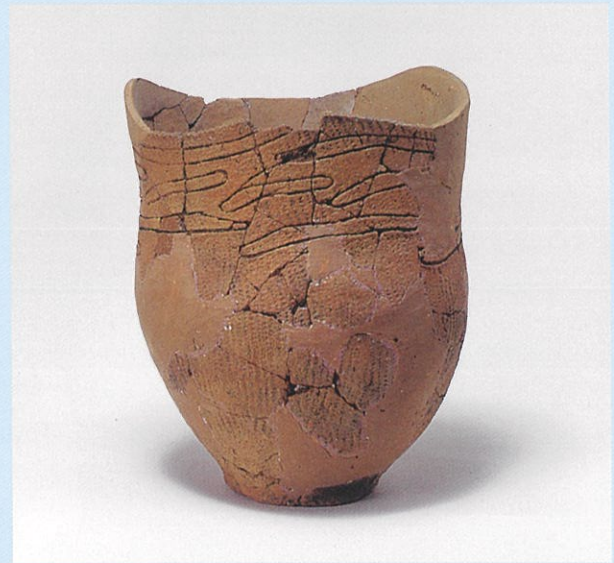
台付深鉢 古府式土器



深鉢 串田新Ⅱ式土器



深鉢 気屋式土器



深鉢



浅鉢 気屋式土器

縄文時代の越飛を結ぶムラ 布尻遺跡

布尻遺跡は、富山市（旧大沢野町）布尻字下平割、標高約150mの神通川右岸の中位河岸段丘上に位置します。その東側には、上位丘陵があり、この段丘との中間部分に遺跡は、広がっています。遺跡の発見ははっきりしませんが、大正時代には縄文時代中期から晩期の遺跡として知られ、県内の研究者が訪れ、遺物の採集を行っています。

昭和51年には場整備事業に先がけて約10,000㎡を対象として、発掘調査（780㎡）が実施されました。その結果、調査対象地区のほぼ中央部分X30～50、Y32～50付近で縄文時代中期後葉から後期前葉の集落が確認されました。中には6角形に配石を持つ竪穴住居2基があり、注目されました。調査区全体では、竪穴住居23棟（石組炉・地床炉・貼床を含む）、集石5か所、穴1か所が確認されています。たくさんの遺物が見つかることから、周辺には大規模な集落が広がると考えられました。また、調査では、縄文時代早期の回転押型文土器を初めとして晩期までの遺物や弥生時代、古代、中世の遺物が見られ、長期間営まれた遺跡と確認されました。出土した土器には、飛騨や甲信地区、岐阜などと同様のものがあり越飛の交流を示す資料と位置づけられました。

主な出土遺物

遺物には、縄文時代早期・前期・中期前葉から晩期の大量の土器（深鉢・浅鉢・小形土器・有孔鏝付土器・器台・釣手土器）や土製品（土偶・滑車形耳飾・スプーン状土製品・円板形土器片加工品）、石器（磨製石斧・打製石斧・石鏃・石匙・磨石・敲石・凹石・石皿・石錘・砥石・石棒・石冠・ヒスイ製玉類・玉未成品）があります。

中期前葉から中葉の土器（新崎式・天神山式・古府式）

それほど多くありませんが、1～3が新崎式と考えられます。口縁部に「入字状」や「渦巻」状の突起や絡条帯による圧痕文を付けるのが特徴の一つです。

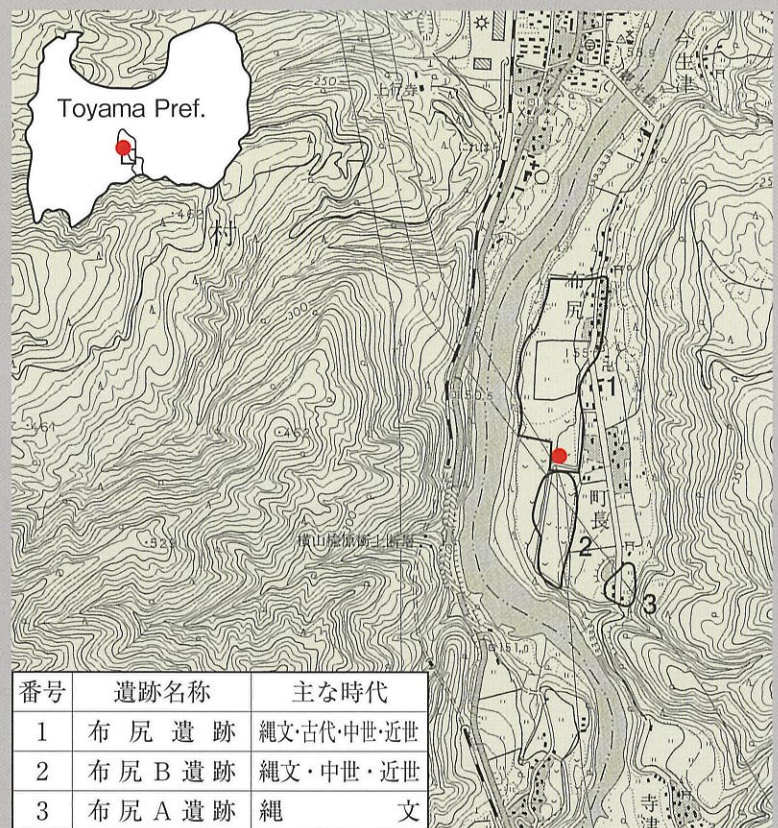
中葉の天神山式は、細い竹を割った道具（半截竹管）で付ける渦巻文様などを特徴とします（4）。

古府式土器（5）は、渦巻文様がしだいに横「S」字状となり文様の表現が雑になります。また、台付の鉢が多くみられます。そのほかに信州の曾利式と考えられる9があります。

中期後葉の土器（古串田新・串田新Ⅰ・Ⅱ式）

串田新Ⅰ式（10・11）になると、これまでの半截竹管による渦巻文から貝殻腹縁の押圧と沈線による工字状文などに変化します。波状口縁深鉢では波頂部が双頭となり、隆帯を胴部に垂下させ、その上に刺突や縄を施します。また、口縁部には隆帯を貼り付けてその間に縦の単線を施すものが現れます。

Ⅱ式では、口縁部が直線的に開く器形が顕著となり、口縁部や胴部の隆帯間に綾杉沈線や刺突文が使われます。また双頭波状が大きくなり、橋状突起が付けられま



第1図 布尻遺跡の位置と周辺の遺跡 (1/25,000)

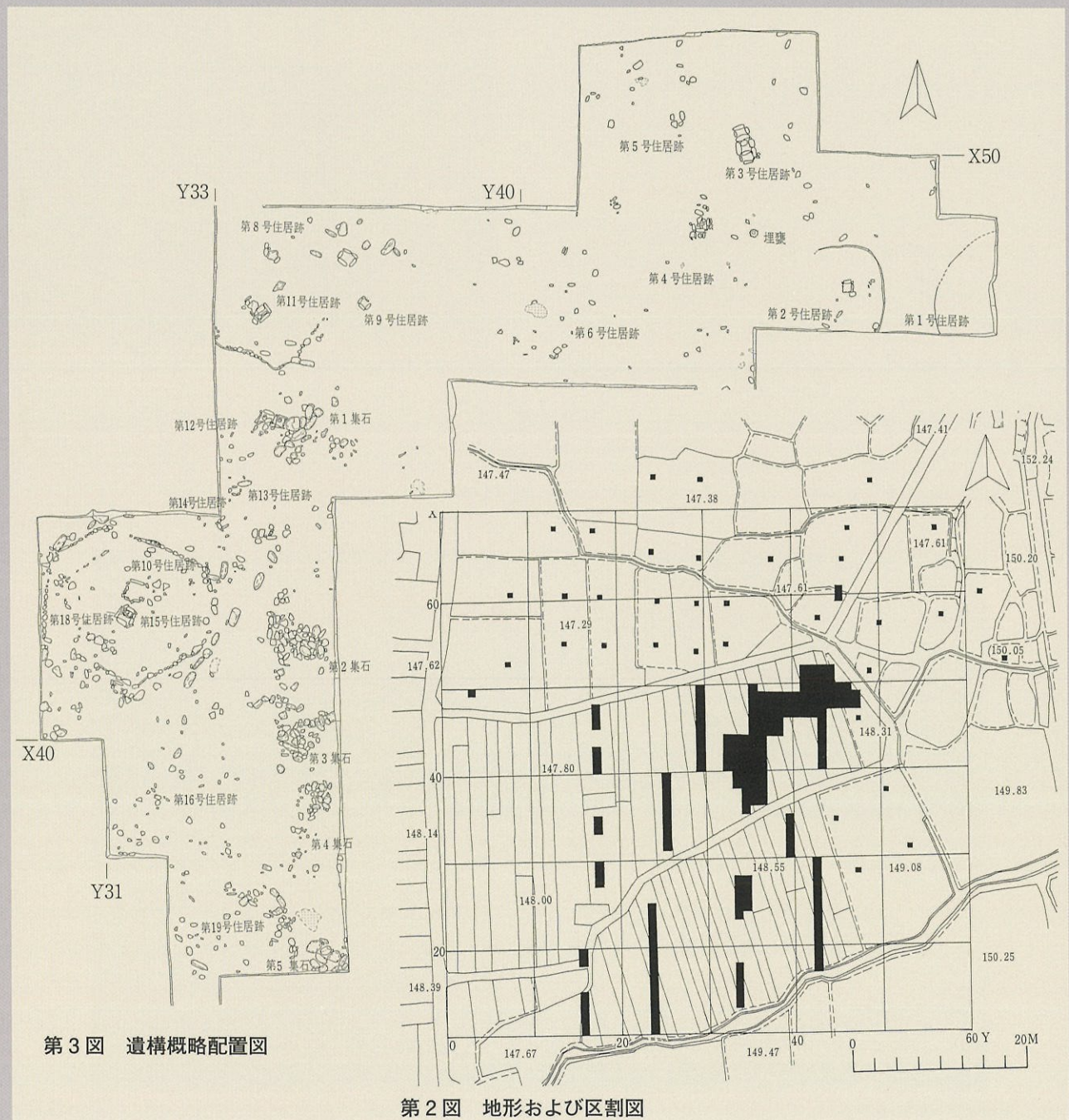
す。浅鉢は皿状となり、外面に橋状突起が付けられます（12～21）。

中期末から後期の土器（岩峠野式・前田式）

布瓦遺跡で最も多く見られるのが、岩峠野・前田式、気屋式土器です。富山県内を中心に分布する突線文を主文様とした岩峠野式（22～35）と能登・加賀を中心に分布する浅い沈線による弧線文・格子文・列点文などを主文様とする前田式（36～57）があります。串田新式に比べ胴部が膨れ、口縁部が広く外反します。また外反する口縁部を内側に強く押しくぼめることも特徴の一つです。岩峠野式では突線文と沈線文を使い分けて表現し、同様な効果で文様を表しています（27・29）。

後期前葉の土器（気屋式）

外反していた口縁部が内屈し、三角形の連続刺突文や小波状沈線が施され、胴部は縦縄文とまります（58～65）。波状口縁では、円形の刺突文が付けられ、それを囲むように文様が施されます。気屋式には、関東の堀之内式の鉢（66、



第3図 遺構概略配置図

第2図 地形および区割図

68) や西日本の縁帯文土器^{えんたいもん} (67) が見られます。また、浅鉢は特に特徴的な装飾が付けられます。内面に文様が付けられる例や外面が丁寧に磨かれるものは、浅鉢の蓋かもしれません (77~82)。

後期中葉の土器^{さかみ かそり} (酒見式:加曾利B式並行期)

羽状縄文^{うじょうじょうもん}を施した鉢・波状深鉢 (86・87) があります。また、西日本の元住吉山式の影響を受けたと考えられる (88)、在地的な (89) などがあります。

後期後半から晩期の土器^{いのくち ようかいしんぼ} (井口式・八日市新保 I・II式)

口縁部に凹線文^{おうせんもん}を施し、巻貝の押圧^{おうあつ}などで平行線に区切りをつける文様を特徴とする西日本の凹線文土器の影響を受け成立した井口式 (90・91) と、後続する平行沈線や弧線文を円形押圧文で区切る八日市新保式の土器 (92~96) があります。II式の三叉文が半肉彫状になる (94) などは晩期のものです。

いろいろな形や特徴をもつ土器

土器には、深鉢^{ふかばち} (煮炊き^{あさばち}に使う) 浅鉢 (盛り付けに使う) 有孔罎付土器^{ゆうこうつばつきどき} (お酒^{さけ}つくりの容器や皮を張って太鼓とした説がある) があります (73)。特に布尻遺跡では、中期末

葉から後期初頭にかけての土器が注目されました。浅鉢では、橋状突起を持ち、1か所が内側に屈曲するもの (77・78・80) や大きな4波状となる (83) などがあります。深鉢では、三波状の (70・71) などあまり県内見られない例があります。飛騨地方の影響でしょうか。このほか、釣手土器^{つりて} (72)、器台^{きだい}などがあります。



調査区 (東から)



住居10・15・18 (南から)



遺跡 (対岸西から)

新崎式土器 / 天神山式土器 / 古府式土器 / 曾利系土器 / 串田新 I 式土器 / 串田新 II 式土器



1

新崎式土器 深鉢



2



3



4

天神山式土器 深鉢



5

古府式土器 台付深鉢



6



7



8



9

曾利系土器



10

串田新 I 式土器 深鉢



11



12

串田新 II 式土器 深鉢

串田新Ⅱ式土器／岩嶺野式土器



13



14



15

串田新Ⅱ式土器 深鉢



16



17



18



19



20



21



22



23



24

岩嶺野式土器

岩嶺野式土器 / 前田式土器



25

岩嶺野式土器 深鉢



26



27

突線文



28

突線文



29

突線文



30

突線文



31

沈線文



32



33



34

突線文



35

沈線文



36

前田式土器

前田式土器



前田式土器 深鉢



前田式土器 / 気屋式土器



49



50



51

前田式土器 深鉢



52



53



54



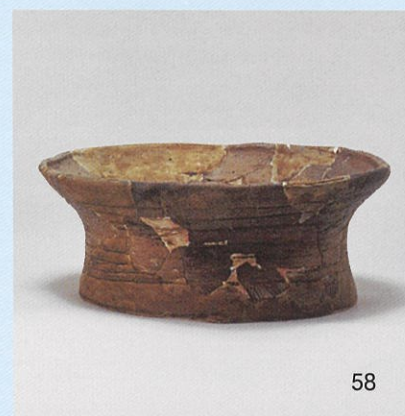
55



56



57



58



59



60

気屋式土器 深鉢

気屋式土器 / 堀之内式系土器 / 緑帯文式系土器



61



62



63

気屋式土器 深鉢



64



65-1



65-2



66



67



68

堀之内式系土器

緑帯文式系土器

堀之内式系土器



69



70



71

堀之内式系土器 浅鉢

深鉢

串田新～気屋式土器



72-1

釣手土器



72-2



73

鏝付土器



74

深鉢(片口)



75

浅鉢



76

串田新～気屋式土器 浅鉢



77



78



79



80



81

気屋式土器 / 酒見式土器 / 元住吉山式系土器 / 井口式土器



82

気屋式土器 浅鉢



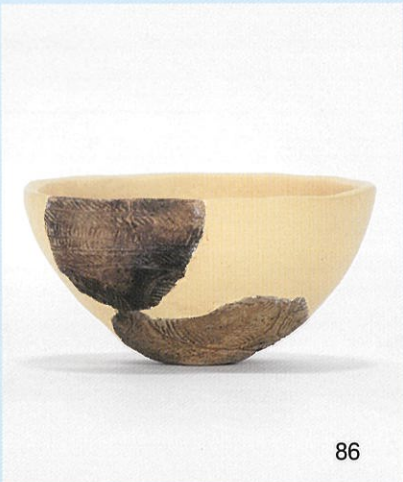
83



84

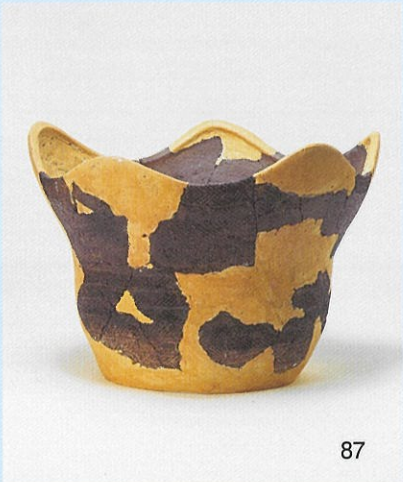


85



86

酒見式土器(加曾利B式系) 浅鉢



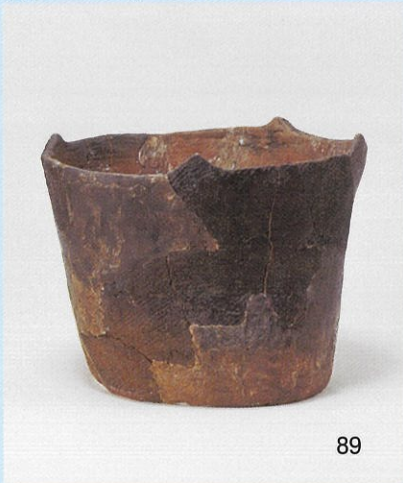
87

深鉢



88

元住吉山式系土器

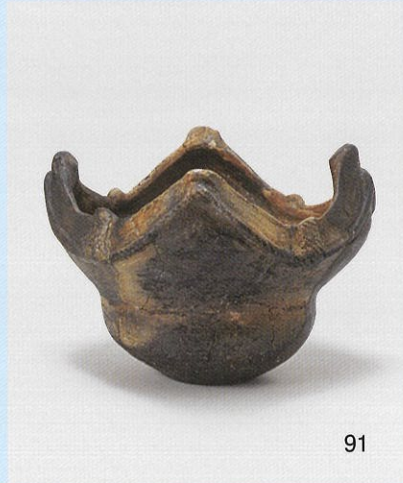


89



90

井口式土器 浅鉢



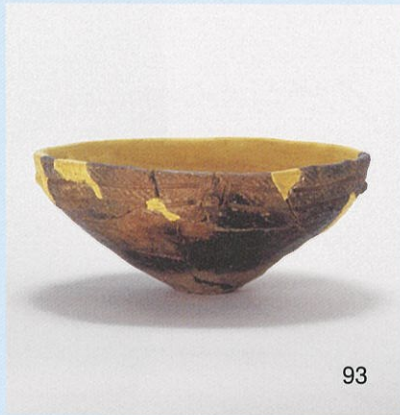
91

深鉢

八日市新保式土器 / 押型文土器・三十稻場式土器



92



93



94

八日市新保式土器 浅鉢



95



96



97

台部

深鉢

小形土器鉢



98



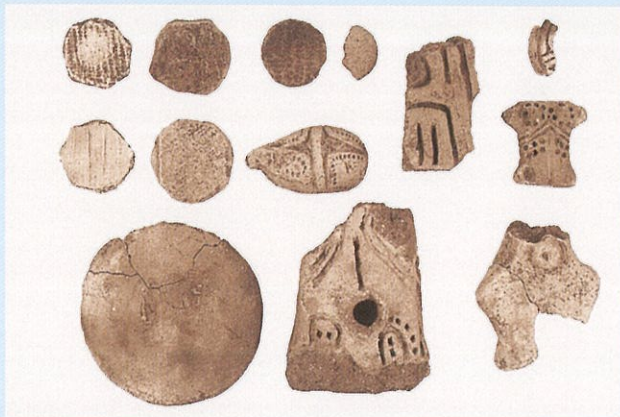
99



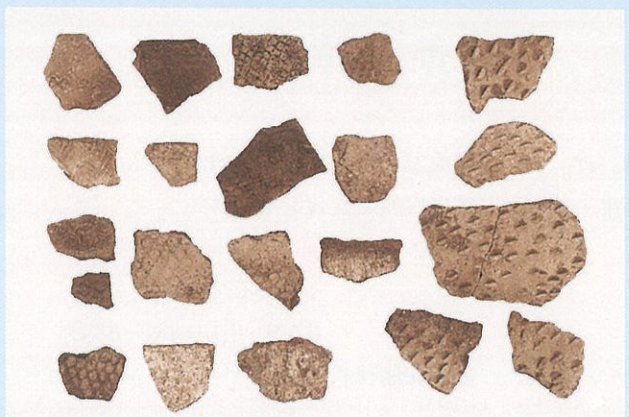
100

鉢

小形土器鉢



土製品



押型文土器・三十稻場式土器



縄文時代の越飛を結ぶムラ
布尻遺跡

発行日 平成25年(2013)3月21日
編集・発行 富山県埋蔵文化財センター
〒930-0115 富山市茶屋町206番3号
TEL 076-434-2814
FAX 076-434-2859
印刷 能登印刷株式会社